

活用方法6

筆者の主張から多面的・多角的な見方・考え方を持つための指導に対応

## 社説を通して、様々な考えに触れる

### ＜学習の効果＞ ～育成される資質・能力～

- 筆者の主張を読み取り、友達との交流を通して、社会の動きを知ることができる、自分の考えが広がる。

### 学習指導要領との関連

総則（１）学習の基盤となる資質能力    イ 情報活用能力    ウ 問題発見・解決能力

### ＜学習方法＞

## 社説から社会を捉える

～社説を読むことを通して、社会の動きや他者の考えを知り、知識や考えを広げる～

（15分×4回）

- 1 1週間程度の新聞をストックし、その中の1つの社説を選択し読み、自分の考えをまとめる。（15分×2回）

- ① 選んだ社説の記事をワークシートに貼る、言葉の意味や関連するニュースを調べる。（ネット等も活用する。）
- ② 主張が述べられている部分に線を引くなどしながら、何に対して、どのような意見なのか記事をまとめる。
- ③ 記事に対する自分の考えをまとめ、交流したい視点について書く。

### ここがポイント！

関連するニュースを調べ、事象の背景の理解につなげる。

### ここがポイント！

意見をもらいたいことを明記し、交流の視点を焦点化する。

（例）

「新聞記事では、～に対して、～と述べている。自分は、それに対して～と考える。なぜなら、～だからだ。安全に対応するためにどんな対策が必要なのだろうか。それについての意見とその理由が知りたい。」

## 2 同じ社説を選択した友達と交流する。(15分×1回)

### ワークシート

<p>1 社説記事を読むことを通して、社会の動きや他者の考えを知り、知識や考えを広げる。</p> <p>社説から社会を捉える</p> <p>名前</p>	<p>2021年2月17日 山形新聞</p>	<p>2 記事の内容に対する自分の考えを書き、友達と交流したいことを決めよう。</p>	<p>新聞の記事では、災害が多い日本では、対策を総点検し、次に備える必要があると述べている。私は、それに対して、今回の地震は雪が降っていた中だったので、降雪地域ならではの防災対策を考える必要があると思う。なぜなら雪との複合的な災害が起こりえるからだ。安全に対応するためにはどんな対策が必要なのだろうか。自分達の周りの防災対策やこれから必要な防災対策についての意見と理由が知りたい。</p> <p>☆「交流したい視点は（自分の周りの防災対策（ ）についてです。」</p>	<p>3 友達と考えや意見を交流しよう。</p>	<p>メモ</p> <p>A 空き家が雪の重さでつぶれたり、地震でつぶれたりする→空き家対策を行政で</p> <p>B コロナが流行している→避難所での対策が必要 C 防災バックの確認</p>	<p>4 交流後の感想を書こう。</p> <p>コロナの流行や過疎地域での対策なく、社会の状況や地域によって、防災対策に必要なことが違うので、その時々にあった対応が必要だと思った。</p> <p>私の家では、防災バックを準備しているので、再確認したい。</p>
--	------------------------	---	--	--------------------------	--	--

## 3 友達からもらった意見をうけ、感想を書く。また、まとめたものを継続的に掲示したり、ファイリングしたりする。(15分×1回)

### こんな方法もあります

- 全員同じ社説を読んでまとめ、考えの相違を交流する
- 同じ日の複数の新聞の社説をランダムに配り、扱われているテーマの違いを交流する。
- 同じテーマの社説をランダムに配り、各紙の主張の違いを交流する。
- 理解したことや考えたことについて、その根拠となる記事を調べるなど、探究的な学習につなげる。

### こんなテーマもあります

- 「第1面チェック（第1面の記事を使って同様の活動）」
- 「世界に注目（国際分野の記事を使って同様の活動）」